

トンボの基礎知識



よく見かけるのはオス

水辺で飛び回っているトンボの多くはオス。オスは縄張りをもって、産卵にやってくるメスを待ち構えている。したがって、比較的オスのほうが目につきやすい。

◀クロスジギンヤンマ (オス) 2004.5.1 T

オスとメスの色の違い

シオカラトンボは、成熟したオスとメスとでは色が明らかに違っている。「シオカラ」の名にふさわしい青白い色になるのはオスだけで、メスは茶色。そのため、別名「ムギワラトンボ」と呼ばれる。ただし、未成熟なオスはメスと同じような色をしており、成熟していく過程で色が変わってくる。赤トンボも同様で、羽化して間もないうちはオスもメスも黄褐色で、成熟するにつれて、おもにオスが赤く色づく。

オスとメスの見分け方

サナエトンボ科、ヤンマ科のトンボは、オスとメスで色の違いはほとんどない。このような種や未成熟の個体でオスとメスを見分けるポイントは次の2つ。

1. オスは腹部に突起（副生殖器）がある（右矢印）

オスは腹部の付け根に突起がある。真横、あるいはやや下側から見上げるような位置から撮影するとよくわかる。これは、すべてのトンボに共通する識別ポイントである。メスの下腹部はなめらかな曲線。



▲成熟したオス 2005.5.28 G



▲未成熟のオス 2005.8.2 G

2. オスはスマート、メスは寸胴

種類によってはわかりにくいものもあるが、オスの腹部は細く引き締まっていて、腹部の真ん中あたりがくびれている感じ、一方、メスの腹部はオスと比べると全体的に太めで寸胴。



▲成熟したメス 2005.8.17 G



トンボの交尾

メスのしっぽの先端にある生殖器と、オスの副生殖器とを接合して受精させる。

◀アジアイトトンボ 2001.7.23 T

★★

1 オツネトンボ

約 35 mm

観察できる時期(月)



▲オス 2005.4.23 G

成虫のまま越冬するため、春一番に姿を現す。白っぽい枯れ枝や石の上に止まっていることが多い。全体的に茶色く、成熟してもオスの複眼が青くなる程度。越冬前のホソミオツネトンボ (P.23) とよく似ているが、羽を閉じたときに前羽と後羽の縁紋がズレて重ならない点で見分けられる。



▲交尾 2004.5.1 T

★★

2 シオヤトンボ

約 45 mm

観察できる時期(月)



▲オス 2005.5.29 T

シオカラトンボに似ているが、腹のくびれがなく寸胴な感じ。羽化直後はオスもメスも同じような黄色い色をしている。オスは成熟すると胸や腹に青白い粉をふく。腹の先に黒い部分はほとんどない。

よく似た種 ⑦シオカラトンボ・⑩オオシオカラトンボ

シオカラトンボの仲間 ▶ P. 9



▲メス 2005.5.2 T



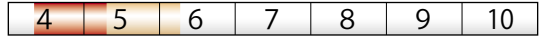
▲交尾 1995.6.18 T

★★

3 コサナエ

約 45 mm

観察できる時期(月)



▲オス 2005.5.19 G



▲メス 2004.4.24 T



▲未成熟のオス 2002.4.25 T

サナエトンボは複眼が左右に離れているのが特徴。胸の側面にある細い黒い筋が1本だけ背中にまで達する。成熟したオスは薄い緑色だが、若いオスやメスは黄色い。都内では皇居と長池公園でしか観察記録がない珍しいトンボ。

★★★

4 クロスジギンヤンマ

約 75 mm

観察できる時期(月)



▲飛翔中のオス 2005.5.21 T

ギンヤンマに似ているが、胸に黒い筋が入る。オスは腹の付け根が青くなり、腹にも青い斑紋がある。

よく似た種 18 ギンヤンマ

トンボの間ではメスの中に稀にオスと同じ色になる「オス型のメス」というのが出るが、クロスジギンヤンマでは非常に珍しい。2004年に長池公園で初めて確認され、2005年には少なくとも2匹が確認された。



▲羽化直後のメス 2005.4.30 T



▲羽化 2005.5.4 G

ゴールデンウィークごろに、トンボ池でいっせいに羽化する。



▲オス型のメス(産卵中) 2004.5.2 T

クロスジギンヤンマの羽化 2005年5月4日の観察記録(G)



7:19 背中が割れ始めた



7:22 頭が抜ける



7:23 前足が出てくる



7:27 足が完全に抜け、この状態でしばらくぶら下がる



8:16 上半身を起こして殻につかまり腹を抜いた



8:31 徐々に羽と腹が伸びる



8:47 羽がだいぶ伸びた



9:29 しっほの先に産卵管が見えるのでメスだ



体の色が濃くなり、羽を開いて小刻みに震わせ始めたら、もうすぐ飛び立つ。このメスは10時すぎに無事飛び立った。早いものは6時には既に羽を伸ばしており、8時前に飛び立つ。

トンボにとって羽化は大きな試練。無防備な状態でアリに襲われることも多い。セキレイやカラスにも狙われやすい。



▲羽化の途中でアリにたかられるものも多い。

◆トンボの羽化観察ガイド

種名	時期	場所	時間帯など
クロスジギンヤンマ	4月下旬～5月上旬	トンボ池	早朝6時には羽化している。 7:00～10:00ごろ羽化するものもあり。
ショウジョウトンボ	5月下旬～6月上旬	トンボ池	早朝6時ごろ
クロイトトンボ (その他のイトトンボ)	5月下旬～6月上旬	トンボ池	午前中、日が昇ってから。10時ごろ。
ネキトンボ	5月中旬～6月中旬	トンボ池	早朝6時ごろ。7時ごろまで羽を乾かしている状態のものが観察できる。
アキアカネ (その他の赤トンボ)	6月下旬～7月上旬	田んぼ	早朝6:00前から羽化。6時過ぎには飛び立ち始める。
シオカラトンボ	7月中旬～7月下旬	田んぼ	まとまった数は見られないが、築池の周りなどで羽化している。
ウスバキトンボ	7月下旬～8月中旬	田んぼ	公園で羽化する最初の世代。
	9月上旬～9月下旬	姿池	公園で羽化する2世代目。